

# 強い中大の復活、新たな歴史への挑戦

数々の栄光を創ってきた駅伝チームが、第89回箱根駅伝でまさかの途中棄権。優勝回数14回、6連覇は偉大なる先輩方が残してくれた歴史だが、最近はその面影が薄れつつある。途中棄権の屈辱を味わったチームだからこそ88回目の出場、85回連続出場の重みを感じていかなければならない。「強い中大の復活」と「新たな歴史への挑戦」をキーワードに、第90回箱根駅伝に挑む。

## 強い中大の復活 ～空白の290日～

歯車が狂いだした『第89回箱根駅伝の途中棄権』

前大会の第89回東京箱根間往復大学駅伝競走(通称：(以下)箱根駅伝)の結果は、誰もが予想しなかった途中棄権で幕を閉じた。「0(ゼロ)」から出発する決意をした駅伝チームは、1年間を通してこの屈辱を晴らすために、途絶えた襷を選手の誰もが目に付く寮の中に飾った。しかし上り調子のチーム状況にはならず、春の関東インカレでは、三宅一輝(3年)の入賞1つだけの結果に終わり、6月に行われた全日本大学駅伝予選会では15位と惨敗し、3大駅伝の1つを取りこぼした。その時の様子を浦田監督はこう話した。「途中棄権をして、チームがまとまらなければならぬ時期にチーム状況は悪かった」。主力選手含め、ほとんどの選手の記録が伸び悩んでいたのだ。



0(ゼロ)から1に...、そして100%に向けて



緊急事態のチーム状況を改革するため、春先から専任コーチを招へいた。板山学コーチと森勇基コーチは、駅伝チームのOBでもあり、厳しい実業団での経験もある。途中棄権から空回り状態にあったチームが少しずつ変わったのは、とにかく「基本」に戻るというシンプルなことを実践した結果であった。チームの変化は、主力選手ではないメンバー集団から起きた。浦田監督は「主力選手は目に見えないプレッシャーからか、怪我をしたり、体調が良くない時期が長かったです。その雰囲気を変えてくれたのは、主力選手以外のメンバーの存在でした」と語った。そして予選会は、本戦出場ギリギリの12番目で通過。「正直5位以内で通過したかったのが本音です。予選会を通過する難しさを痛感すると共に自分自身の考えも甘かったです」と振り返る。そして、箱根駅伝に向けて決意表明した。「決して予選会ギリギリ通過レベルのチーム力ではないはず。残りの2カ月で他大学と戦えるように、しっかり準備をしていきます。これほど辛い時期を過ごしてきたからこそ、本戦で喜びを爆発させられるようにチーム一丸となっていきます」。中央大学駅伝チームは、虎視眈々と上位進出を狙っている。

## 新たな歴史への挑戦

8区・幻の区間賞 永井秀篤(3年)

チームが途中棄権した前大会は、僕自身初の箱根駅伝出場でした。不安と自信が混じり合った状態でしたが、大会3カ月前から納得のいく練習ができていたので、自信をもって走りだせたとします。5区でチームが途中棄権をした情報を知らされた時は、何が何だかわからない精神状態でしたが、山下りを走った代田さん(主将)からのメールで気持ちが切り替えられました。幻の区間賞と騒がれていますが、僕のやるべきことに変化はありませんし、しっかり練習をこなしていきたいと思っています。伝統ある中央大学は、諸先輩方が創り上げてくださった栄光です。予選会で12位だった結果に目を背けず、やるべきことを忠実に実行していきたいと思っています。個人の目標は、山登り区間の「5区」を走ることです。この区間は、各大学のエース級が揃う区間なので、自分の力がどれだけ通用するか確認できる場所だと思います。チームスタッフのサポートがなければ、僕自身出場できなかったと思いますので、常に感謝の気持ちをもって今までの苦悩を晴らしたいです。



### ■第25回出雲全日本大学選抜駅伝競走

2013年10月14日(月・祝)

1区(8.0km)	町澤 大雅(1年)	区間 8位
2区(5.8km)	谷本 拓巳(1年)	区間 12位
3区(7.9km)	徳永 照(2年)	区間 6位
4区(6.2km)	鈴木 修平(1年)	区間 9位
5区(6.4km)	岸本圭一郎(1年)	区間 13位
6区(10.2km)	松原 啓介(2年)	区間 9位
総合成績(6区間44.5km)		2時間14分40秒

### ■第90回東京箱根間往復大学駅伝競走 予選会

2013年10月19日(土)

14位	須河 宏紀(4年)	59分53秒
16位	相場 祐人(4年)	59分55秒
37位	新庄 翔太(3年)	1時間00分31秒
67位	三宅 一輝(2年)	1時間00分55秒
127位	多田 要(3年)	1時間01分54秒
132位	渡邊 俊平(3年)	1時間01分55秒
141位	瀧美 良明(1年)	1時間02分00秒
150位	代田 修平(4年)	1時間02分07秒
161位	市田 拓海(1年)	1時間02分15秒
189位	徳永 照(2年)	1時間02分47秒
220位	松原 啓介(2年)	1時間03分18秒
270位	町澤 大雅(1年)	1時間04分18秒
総合成績 12位		10時間14分12秒(上位10名の合計タイム)

## 箱根駅伝を応援しよう!

～第90回箱根駅伝『おすすめ応援スポット』～  
正月の風物詩、箱根駅伝。沿道で観戦される人数は毎年、数百万人にのぼる一大イベント。各区間の見どころを矢崎主務に聞いてみた。



1月2日・往路

【1区】東京・大手町スタート～鶴見中継所(距離:21.4km)

オススメ! 『六郷橋付近』

この場所はアップダウンがあり、レースが動く重要なポイント。

【2区】鶴見中継所～戸塚中継所(距離:23.2km)

オススメ! 『戸塚中継所前残り3km付近』

残り3kmの走りによって1分以上の差が出てしまう場所。この距離をしっかり走れるかがチームの往路順位を左右する。

【3区】戸塚中継所～平塚中継所(距離:21.5km)

オススメ! 『国道134号線に差し掛かる12km地点』

この付近は、毎年いたずらな風が選手を苦しめる。各大学のエース級選手がエントリーされ、順位変動が激しい。

【4区】平塚中継所～小田原中継所(距離:18.5km)

小刻みに続くアップダウンで、中々リズムが掴みづらいコースでもある。山登りに向けて勢いをつけたい区間。

【5区】小田原中継所～箱根・芦ノ湖ゴール(距離:23.4km)

オススメ! 『小湧園付近』

約13%の勾配傾斜を誇る場所。この場所に差し掛かる手前は、数少ない平坦な距離が続く。残りの距離に向けて、再度スイッチを入れられるかが鍵になる。

平塚中継所

【7区】小田原中継所～平塚中継所(距離:21.3km)

近年は「復路の2区」と言われるほど重要な区間。6区の勢いをそのまま加速させたい。この区間から気温が上昇し、脱水症状になりやすい場所でもある。

1月3日・復路

【6区】箱根・芦ノ湖スタート～小田原中継所(距離:20.8km)

オススメ! 『箱根湯本駅前』

芦ノ湖から一気に駆け下りてきた足が動かなくなる地点。足にブレーキをかけずに思いっきり走れるかが重要。

【10区】鶴見中継所～東京・大手町ゴール(距離:23.1km)

オススメ! 『日本橋』

コース全体の中で、大声援を受ける場所。残り1km地点でもある為、その大声援を力にするか、それとも気負ってしまうかが明暗を分ける。

鶴見中継所

【9区】戸塚中継所～鶴見中継所(距離:23.2km)

オススメ! 『京急子安駅前』

スタートから一気に下る区間。ペース感覚が掴みづらく、横浜駅前を通過した辺りから疲労を感じる。中継所まで残り約5kmの勝負どころ。

【8区】平塚中継所～戸塚中継所(距離:21.5km)

オススメ! 『遊行寺の坂』

海岸線から市街地に入り、急な坂になる地点。上りの走りから中継所までの平坦をしっかり走れるかが鍵。

箱根・芦ノ湖

小田原中継所